



各 位

平成 27 年 4 月 28 日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 代表者 代表取締役社長 川崎 博也
 (コード番号 5406)
 問合せ先 秘書広報部長 安田 幸展
 (TEL 03-5739-6010)

業績予想に関するお知らせ

平成 28 年 3 月期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の連結業績予想について、お知らせいたします。

記

平成 28 年 3 月期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の連結業績につきまして、今般その見通しを得ましたのでお知らせいたします。

平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|---------------------|---------|--------|--------|--------------------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前第 2 四半期連結累計期間実績(A) | 916,019 | 57,184 | 46,152 | ※42,115 | 11.59 |
| 今回発表予想(B) | 980,000 | 50,000 | 40,000 | 25,000 | 6.88 |
| 増減額(B-A) | 63,980 | △7,184 | △6,152 | △17,115 | |
| 増減率(%) | 7.0 | △12.6 | △13.3 | △40.6 | |

※前第 2 四半期連結累計期間は四半期純利益として開示しております。

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|--------------|-----------|---------|---------|-------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前連結会計年度実績(A) | 1,886,894 | 119,460 | 101,688 | ※86,549 | 23.81 |
| 今回発表予想(B) | 1,990,000 | 125,000 | 95,000 | 60,000 | 16.51 |
| 増減額(B-A) | 103,105 | 5,539 | △6,688 | △26,549 | |
| 増減率(%) | 5.5 | 4.6 | △6.6 | △30.7 | |

※前連結会計年度は当期純利益として開示しております。

業績予想の概要

当期の我が国経済は、引き続き公共投資は底堅く推移し、緩やかながら設備投資の増加も見込まれることなどから、景気は回復基調が持続するものと想定されます。一方、海外においては、中国、新興国における景気減速の長期化が懸念される他、各地域の地政学的リスクも相俟って、先行きへの不透明感が増しております。

当社グループにおいては、自動車向けの需要は、期初は需要家の在庫調整などにより弱含みとなる見込みですが、下期に向けて回復するものと見込まれ、造船向けの需要なども概ね堅調に推移すると想定されます。一方、アジア地域の鋼材の供給過剰の状況に変化はない他、ロシアを含む欧州、北米及び新興国において、原油価格の下落の影響によるエネルギー関連需要の停滞、景気低迷が懸念されます。

このような中、鋼材やアルミ・銅圧延品などの販売数量や販売価格及び鉄鋼主原料価格など、未確定な要素については一定の想定をした結果、当期の業績については、売上高は1兆9,900億円程度、営業利益は1,250億円程度、経常利益は950億円程度、親会社株主に帰属する当期純利益は600億円程度と見通しております。

詳細につきましては、本日発表の「平成27年度3月期 決算短信」【添付資料】1. 経営成績・財政状態に関する分析(1)経営成績に関する分析を併せてご参照下さい。

以上

(注)上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。